

「すばる星」たくさんの星を、つなぎあわせて、 「一つの大きな和（ちから）」を創り出す学期！

第二学期・始業式

風登原

第20号

校長:上間忠彦

学校教育目標)

- 自ら考え進んで学習する子
- 思いやりの心で行動する子
- 進んではたらき最後までやりぬく子
- 進んで体を鍛える子



平安時代の清少納言はすばるは星々の中で最も美しいと讃えました。「すばる」とは、天の宮に属する星のものを結んで一つにする」と云う意味があるそうです。

和名は「すばる」、洋名は「フレヤテス星団」中国名「昴（ほう）」と呼ばれているらしい。

古代人の髪や手首に巻いた玉飾りが星の名となった。しかも、「すばる」は、農耕にも関係が深く、南西諸島の中には、この星から農耕の技を教えられたと云う伝説もある。

一学期の教育活動は、最も充実する時期であると共に、目標達成の収束に向かって努力を傾注しなければならない時期でもある。

「残暑」から「秋冷」へ、そして「初冬」へと季節の変化も著しい。

九月には、夜半にならなければ姿を見せないこのすばる星は、十二月には、中天に昇る程になる。冬の星座に属するとされる「すばる」だが、語源や伝説や農耕歴から見ても、二学期の象徴として、むしろ相応しい星だと云えよう。

学校教育活動も、二学期はまさに変化の目まぐるしい時期である。

たくさんの星をつなぎ合わせて、「一つの大きな和（ちから）」を創っていく学期である。児童一人一人が手を取り、職員も一人一人てを取り合って「おーきなわ」を創り「チーム上小」として乗り切って行きたいと思えます。

上本部ドジャースが八月十七日、JALカップ第7回全九州学童軟式野球大会（福岡県久留米市）へ向けて総勢六十名（選手・保護者・家族含め）で元気よく出発式を行った。十七日～二十一日までの旅となります。安全に気をつけ頑張ってください。



九州大会へ出発！



PTA美化作業



八月三十一日（金）平日にも関わらず、多くのPTAが参加してくれました。学校が明るく綺麗になりました。PTAの皆さん、ありがとうございました。

「体験活動の月」：学校では出来ない体験をしよう！

「豊かな体験は、豊かな心をはぐくむ」